

新農村建設の中心

新穂村公民館

佐藤部の中央に位置する新穂村は一部丘陵の起伏はあるが、中央は平地で、大野、新穂の二つの川が村の中央を貫流し、全部一を誇る地味肥の耕地約一、二六〇町歩をうろついている。ここにおける公民館の特徴を覗いてみよう。

一、新穂村五ヶ年計画と生活改善部門

新穂村では農業総合振興計画の第一次五ヶ年計画がわたり、今年から三十五年度まで、第二次計画が出来上っている。この計画の「生活部門」を覗いてみると、住宅改善が(1)かまどの改善、(2)流しの改善、(3)改良便所の納入の設置などが、年度別にも改善目標が、数層的にはっきり立案されている。

線放法が大きくとりあげられており、完成の時は、公民館の広報活動に大きな威力となるであろう。

新生活運動としては、結婚改善を研究テーマにとり上げ、住民一人一人のありがちな運動として、真剣にとり組んでいる。

三、分館活動

表彰公民館

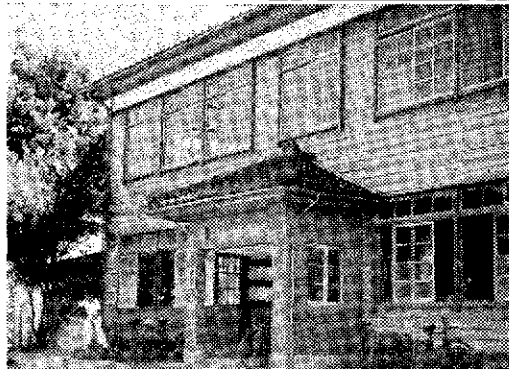
そのほか、農家鑑記・衣生活・食生活・家族計画なども計画内にとりまわっている。

公民館は農協・勤業・衛生・其他関係機関と密接に協力して、この分野の改善を推進している。

二、新農村建設のモデル村
新生活運動のモデル村
新穂村は「新農村建設計画」のモデル村であり、このほかに「新生活運動」のモデル村にも指定された。新農村建設計画は、目下有

住宅改善

種別	現在の数	総数	31年	32年	33年	34年	35年
			505	1,251	200	170	150
かまど(立)の改善	505	1,251	200	170	150	126	100
流し(立)の改善	880	1,251	150	100	70	40	11
改良便所の設置	103	350	50	50	50	50	50
押入の設置	未調	250	50	50	50	50	50



新穂村は、この裡八箇所に分館

の発定を促したが、分館が正式に設置される以前から、各部落で分館活動が次第に行われて来た。それだけに、部落の裏の裏まである生産生活と結びついていることが、大きな特徴である。

川分館は、新築なつた二階建てで、下が作業場になっており、脱穀・製籾などが計画内で行われており、近く共同炊事場が考えられ、パンと牛乳などによる食生活の改善が大きく取りあげられている。

大野分館では、九月五日のもの

予定が計上され、最近結婚活動がくわゆるけられて来た。中でも若妻の会とか植林隊などは部落内に盛はれている。五十町歩におよぶ植林は部落の将来に大きな望しい期待を抱かせている。

瓜生屋分館では、農協を主力を合せての、柿の増産・出荷などみるべきものがある。

船下分館での食生活の改善は効果果をあげ、カロリ計算の早見表が各家庭で利用され

豆腐は高い割りに安くないから、オカラの方が得たわーなどのほほえましい声も聞けるようになつた。

の発定を促したが、分館が正式に設置される以前から、各部落で分館活動が次第に行われて来た。それだけに、部落の裏の裏まである生産生活と結びついていることが、大きな特徴である。

地域に直結する

○ 栃尾市中央公民館

十月一日中野原、平蔵金の二村を主業とする地域である。中央公民館は中心地栃尾町地域を吸収合併して、人口三八、四五五人、面積二〇・三七平方町となす。栃尾町一町八ヶ村を二丸として、栃尾地区が新市制の自治体を形成したところになり、中心地は市民等、事態は千差万別であり、積極的に出たがらない、引込農家組織物製造業を主としその人口は三分の一で、他の三分の二は農業の傾向が強かつた。

待たけられてきている。佐和田町や両津市へ通つて来た多くの若い方たちから、自分の村で多講出来るようになつて好評を得ている。一方村議会には、「洋教学院」として専門学校的な服装学院の構想などが議されて、いる。

五、教育調査の活用
教育が中心となつて、県の教育研究所の指導も受け、関係団体機関が一体となり、新穂村の教育目標設定のための基礎的な教育調査が行われた。この調査が総合的な社会教育計画を樹立するのに大きな役割を果すことである。

六、昔噺鬼太鼓の映画化
昨年全青年大会で第一位になつた新穂村の「昔噺鬼太鼓」に識者の関心が集り、近々その自体の苦心の課程が家の光社によつて化され、一般に公開されることになつている。このように新穂村に演劇グループ、草の美合唱団等のすぐれた文化団体のグループが、すくすくと育ちつつあることは特筆されるべきではないか。

(写真は新穂村公民館の正面)

待たけられてきている。佐和田町や両津市へ通つて来た多くの若い方たちから、自分の村で多講出来るようになつて好評を得ている。一方村議会には、「洋教学院」として専門学校的な服装学院の構想などが議されて、いる。

その公民館としては定期講座(中丹波)百本七枚、その他毛地内採用果樹百十を導入し、農家や青年達の手により、それぞれ個人単位で植付を完了した。これらについて時折講習会を開催して専門技術の指導を圖つて、山間へき地における恵まれない農家に対し総合経営上の現金収入の道を考へ、反面自家用以供して健康の保全に資したためである。本年度成人式披露に対して、この意味から記念植樹として農家の子弟には「八珍柿」一本宛を、町部成人には桜樹を贈る方針である。今年後には約四千本の一定品種が栽培せられ、栃尾の名産とも、農家収入を増加しようというのがある。

以上の外、現下の課題としては毎週実施されている定期講座も青年学級として特定し、密着農地の青年教育に力を注ぐ必要を開講されている。しかし、青年学級が開講されても、別に定期講座は持たないとも、明年度の恒題として今年から実施しようとしている。

(写真は栃尾市中央公民館)

その公民館としては定期講座(中丹波)百本七枚、その他毛地内採用果樹百十を導入し、農家や青年達の手により、それぞれ個人単位で植付を完了した。これらについて時折講習会を開催して専門技術の指導を圖つて、山間へき地における恵まれない農家に対し総合経営上の現金収入の道を考へ、反面自家用以供して健康の保全に資したためである。本年度成人式披露に対して、この意味から記念植樹として農家の子弟には「八珍柿」一本宛を、町部成人には桜樹を贈る方針である。今年後には約四千本の一定品種が栽培せられ、栃尾の名産とも、農家収入を増加しようというのがある。

その公民館としては定期講座(中丹波)百本七枚、その他毛地内採用果樹百十を導入し、農家や青年達の手により、それぞれ個人単位で植付を完了した。これらについて時折講習会を開催して専門技術の指導を圖つて、山間へき地における恵まれない農家に対し総合経営上の現金収入の道を考へ、反面自家用以供して健康の保全に資したためである。本年度成人式披露に対して、この意味から記念植樹として農家の子弟には「八珍柿」一本宛を、町部成人には桜樹を贈る方針である。今年後には約四千本の一定品種が栽培せられ、栃尾の名産とも、農家収入を増加しようというのがある。

表彰者

優良館長

小杉説次郎 (村上市中央公民館)

山田 直治 (新潟市新潟公民館)

三田村文二 (中条町公民館)

斎藤 順作 (巻町中央公民館)

佐原 由純 (五泉市公民館)

松原 三八 (富野木村公民館)

神山千代松 (三条市旭公民館)

優良職員

飛田 一郎 (高田市中央公民館)

米山 謙三 (直江津市中央公民館)

杉野 哲次 (新井市中央公民館)

佐藤 忠治 (潟附村公民館)

吉崎 三吉 (大瀧村公民館)

久保 倫将 (相川町公民館)

富所庚一郎 (大日町公民館)

熊倉 修造 (栃尾市中央公民館)

星野 文雄 (敦村公民館)

星 義雄 (小出町公民館)

室橋 竹治 (長岡市権吉公民館)

石川 秀雄 (弥彦村公民館)

田村 景三 (新潟市公民館)

青木 マツミ (小須戸町公民館)

阿部 定正 (村松町公民館)

高橋 寅伊知 (亀田町公民館)

親しまれる公民館に

新潟市中央公民館長 石綿 政治

今回優良公民館として表彰を受けたことは誠に感謝に堪えません。この光栄も更に事業実施面に反映して、住民の実態生活に即した活動展開に努め課題解決

決を自覚し「訪問集会」の徹底を図り、産業の振興、経済的自立態勢の確立に資し、四方市民の世論にゆえ編み込まれる公民館として、定期講座に重点を置き青年婦人を通じて、ヨコザ教育の浸透を図り、化繊栃尾の発展向上のため民主主義に徹した事業を目標にする。これにより明らかく住みよい新市栃尾の建設に寄りたいと念願してやみません。

内容をより美名

新潟市公民館長 堀 沢 弁 明

外観の美名よりも、内に充実した村民により利用される公民館に……と云うことが、我々公民館関係者の常に考えている所です。

去月思いがけない県表彰選奨の資料提出の報に接し、当村に於いて佐渡地区社会教育研究大会開催のために、充分な資料整備も出来ぬままに報告した次第でしたが、



写真は表彰者紹介の後に丸山会長から一人づつ賞状を授与するところ

今回何からしても、丸山会長らの表彰の栄にあずかり、嬉しい様な恥しい様な気持ちであります。当館が果たしてその価値ありや? 私には自信がない。若しあるとすれば、勿論私や役員等の力でなく、是れは村民各位が公民館事業に對する非常な関心と理解ある協力と、村当局の深い社会教育に關する理解と熱意にあることとを信じて、私達は誇りに

図書室

カラスの四季 周 はじめ著 書いてあるもので、カラスの撮影にはどの様なテクニックを必要とするか、体験がほほえましい。B8。アート紙 写真と文が半々で、写真の組付けにも気を配つてある。

著者は中大法科平という変り種、鳥の内田清之助博士に師事し、生感写真については下村雅史氏の指導を受けたという。カラスに対する愛情をその序で次の様に述べている。

「こうしてカラスの生活に親しめば親しむ程私はあの黒い羽毛に包まれた鳥の精悍さを愛し野武士のような面構えを愛し、なによりも、そのなまいましい生活力を愛し、自然の愛に耳を傾けている。そして夫々するようになった。とに常人には及びもつかない鋭敏な感得力が働いている。

内容は次の八篇からな感得力が働いている。且々として何気なく語る調子で、著者のカラスへの愛憎がどの写真にもにじみ出ている様に思われる。

- 一、春の訪れ
- 二、カラスの青春
- 三、英のある辺り
- 四、原野の夏
- 五、海辺のカラス
- 六、カラスの功罪
- 七、秋から冬へ
- 八、きびしい冬

氏は六月末不幸危病に遭われ、不慮の死を遂げられたことは、吾々の記憶にまた新たなる如くこの本は故人の思い出のよすがとして、再刊されたものである。

昭和31、8
ダクソッド社刊 B8
二七八頁 三四〇円

著の世界に生きる検査官城道雄氏の隨筆集である。
宮城 道雄著
春の海
昭和三十、一四七頁
三五〇円 法政大学出版局

あとかきも亦写真に興味のある者にとつて面白い、これは動物の生感写真の織り方について

第一分科会

青年教育をどのよう
展開したらよいか

司会者 石川秀雄(弥彦公)
発表者 高橋賢伊知(亀田公)
" 吉崎三吉(大湊公)
" 猪股武雄(県教委)
" 亀山栄松()
亀田町の青年学校では、学習展
開の方法としては、計画を自主的
に立案することに力を盡き、月一
回学習のプログラムを課程表から
自由選択により作るようにして
いる。講師も、講師団から自由に選
択されている。これにおける学習
の形態として、
講義学
習、討論
学習、記
述学習、
調査学
習、視察
学習、実
習学習、
新聞学習
の七つを
採用して
いる。こ
れらの学
習は年令
職業、性
別によつ

て異なるが共通の方向としては新し
い村づくりに進んでいる事である
大湊村では、学習展開の方法と
して、青年の話し合いによる課題
の把握、課題解決のための話し合
い(フィルム・録音教材等を使
用)課題達成のための話し合いの
三つを経過させた後、家庭、職場
地域における実践と行動に移ら
れている。
以上発表された二つの方法の他
に、都心部の青年教育育成とし



以上発表された二つの方法の他に、都心部の青年教育育成として、

の三点であつたが、これに対する
反省と対策としては
一、青年と共に行動し、実践す
ること。たとへば朝通し合つたら
「お早う」と言葉交わし合つた
ラジオ体操を一纏になつてする等
の手近かなところから仲間意識を
抱かせること。
二、指導意識が強すぎたはけ
ない。これは自主的な積極性を喪
失させる。
三、青年教育が青年学校と青年
団のみを対象とするのは狭すぎる
組織されたグループ、青年団等に
未加入の青少年の実態(部落別、
年令別、職業別など)を調査し、
把握して、働きかけるよう努めな
ければならない。三百がとりに
上らなければならない。
また、青年団と青年学校との関連
性については、行動実践において

表裏の関係である事が明らかにさ
れた。つまり話し合い(雑談・課
題の把握)から、視察教材を利
用したり、指導者を交えた話し合
いに移る。青年学校の良いが強く
なり、現実の問題分析から行動実
践に展開する時は青年団活動の場
に発展しているという相互関連の
型態が明らかであるからである。
結論としては青年学校の性格を
どう考へるかによつて学習展開の
し方がちがう。青年たちの
自主性をとめて尊重し青年団と
も協力して問題解決学習をすす
めるといふ考へ方に立てば亀田や大
湊のようになる。"心身共に未
成熟の青年たちを教育し、指導し
てやる"という考へ方が強く打
出されれば、教育計画も学習指導
も自立的なものになる。

第二分科会

婦人教育をどのよう
展開したらよいか

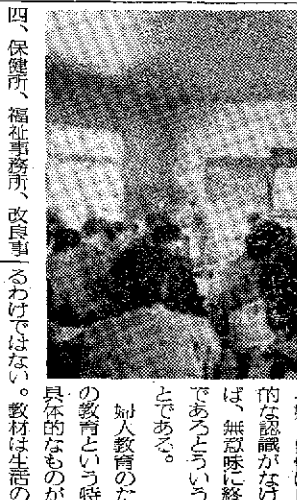
司会者 磯部富美子(村上公)
発表者 矢島政教(北磐石公)
" 杉沢竹次(柿崎公)
" 高橋ハナ(県教委)
助言者 佐藤貞正()
北磐石では、婦人会員別婦人学
級生があり、課題意識をもたせる
ことを手段とし、記憶の習慣化に

努めている。また学習においては
フィルム・フォレラムを活用して
いるが、これにはオヤジの参加す
ることもある。
柿崎町では、婦人会員の一人一
人が提出した問題をとり上げて解
決に努力するようにしている。
"生活を向上するための懇談会"

から、婦人教育促進運動がむづ
それを公民館とオヤジ側が協力し
始め、現在の新生活運動に発展し
た。
討議されたことは次のとおりで
ある。
一、婦人団体は青年団、公民館、
PTA、農協婦人部、その他の婦

人団体等との密接な連絡提携が
が必要である。
二、地教委と公民館が協力的婦人
教育計画を作成することによつて
活潑な発展と成果が期待される。
三、壮年男子(オヤジ)の理解が
望ましいことは勿論であるが、巧
くゆかない。しかし、PTA、自
己のみならずは、不十分である
田舎懇談会、家庭などの席では、
地教委、公民館は、婦人会にま
理解を深めさせるには容易である
せきりにしておかないで、積極的
な教育計画を樹て
なければならぬ
以上のうち結論
としては、五、に
述べたように、婦
人教育がいかに展
開され機会に恵ま
れようと参加す
る婦人自体に自主
的な認識がなけれ
ば、無意味に終る
であらうといつて
とである。
婦人教育のため
の教育という時に
具体的なものがあ
るわけではない。
にある。生活をまともに考え、生活
の中から問題を発見して行くこと
が大切だ。言葉や仕事だけふりか
さすのではなく、より上の力を育て
一歩一歩進めていく生活態度を養
うことが大切だ。

四、保健所、福祉事務所、政民事
務所、公民館等との連絡では、婦
人を対象にした事業計画を持つて
いる。しかし、バラバラに実施さ
れているので、相互の連絡調整が
ましい。
五、婦人教育は第一に婦人の自覚
がなければ効果がない。
六、公民館は婦人会を指導しよう
とひたつて行つて、婦人会は公



民館に手合いをさせよう、よ掛り
かろう、というような行き過ぎが
相互にあつてはならない。
七、小団活動、共同学習が盛ん
なつて来たが、婦人指導者の養成
が急務である。
八、婦人教育は団体、組織を通じ
て進めなければならない。
九、公民館は、婦人会にま
理解を深めさせるには容易である
せきりにしておかないで、積極的
な教育計画を樹て
なければならぬ
以上のうち結論
としては、五、に
述べたように、婦
人教育がいかに展
開され機会に恵ま
れようと参加す
る婦人自体に自主
的な認識がなけれ
ば、無意味に終る
であらうといつて
とである。
婦人教育のため
の教育という時に
具体的なものがあ
るわけではない。
にある。生活をまともに考え、生活
の中から問題を発見して行くこと
が大切だ。言葉や仕事だけふりか
さすのではなく、より上の力を育て
一歩一歩進めていく生活態度を養
うことが大切だ。

第三分科会

成人教育はどのように展開したらよいか

司会者 室崎佐喜男(白根公民館)
発表者 山本醇(奥野公民館)
内膳昭二(高田・津有公民館)
助言者 増井祐三郎(奥教委)

真野町においては、町村合併問題が二に分裂して対立した。
は町民が町政に無関心であるという反省から、成人教育の必要が痛感され、一般教養、産業、婦人、青年の各講座が開かれるようになった。

方法としては講座中に町民の身近かへ起きた政治問題をとり上げ、それを公民館だよりに掲載し、載せることもした。この効果は未だ判明しないが、今後は分館にも実施させたいと考えられる。
高田市津有では、農協婦人部の集会所が動機となり農家の主婦が社会教育を結成した。家庭から矛盾をなへし、身近な問題から取り組む、住みか村を一つ一つ遠隔のいらない雰囲気を進めようということになった。

この婦人活動が活発になると、オヤジ連がこの動機に注目し、認識を深め、各部署の集会にも多数が参加するようになり、先進地を視察するところも増えつつあった。

公民館としては部落センターの中心にならないことは、意図が強く出ず的推進員を養成するよう努めてい。
寺泊では、十七軒三二八(オヤジ十七人)という近隣集団の結合を行っているが、日常の農業問題の合議いからオヤジ連が出席するようになった。

オヤジ教育の事例としては次のようである。

朝日部落(約五〇戸)では、青年会が「大人にものを聞く」を聞き部活用組のオヤジを招いて突込んだ質問をし、相互に理解を深めるようにしている。津川では、オヤジは青年、婦人のように講座で教育するというわけにはいかぬので、具体的問題、(拾芥の、町役場庁舎、水害等)をとり上げて集まってもいい、成功した場合には注意しなければいけない。



昔から成人は完成されたものであるという観念が強いが、青年グループ学習、婦人グループ学習、オヤジを随時講師に招いて共同学習の場にするなどである。また近隣集団(2)などは隣組のように講座で教育するというわけにはいかぬので、具体的問題、(拾芥の、町役場庁舎、水害等)をとり上げて集まってもいい、成功した場合には注意しなければいけない。

四、新生活運動の具体的解決の方法としての視聴覚教材の利用(新発田市婦人会)
が主要な課題となった。
一に對する意見は特に最近「太陽集会」に視聴覚教材を計画的に利用している。

この方法は、名古屋市内に実施されている家庭映画会に近い。それはレコードコンサートを聴く一つの予備教養という意図もあつて、ある町内グループは「音楽会のお誘い」という主題で月一回集会をもつが。

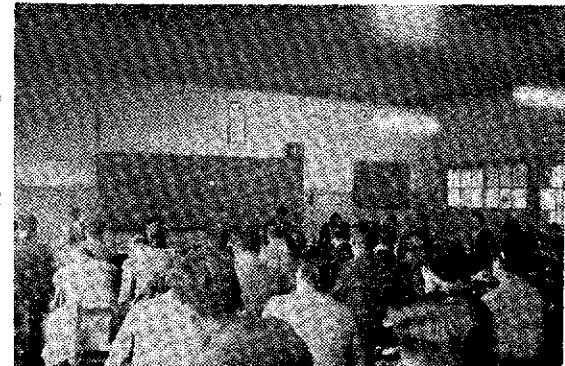
ここに、音楽に関する映画及録音教材を巧みに配列する。これは「視聴覚教材の綜合化」という課題を表現しつつある。
新潟公民館では、農村に於ける教育映画は、とかく会合の副次的な役目を果たしているに過ぎないので、効果ある教育媒体とする一つの方法として、地域の行事記録スライド、地域のニュース映画(公民館の実施事業(公営結婚)などの映画の実施作品の併映というところをやつてゐる。

この発表の後協議に入り、
一、学習グループに参加しない対象には、上のように呼びかけるか
一、対商業マス・コミの問題(吉田町公民館)

婦人会、PTAなどが進んでこの種映画を観望しその実態を批判し合うことにより、青少年に對する影響を防止しようと努力した例(吉田町)太陽族映画の表現内容が地方の青少年自身が既述の

第四分科会

視聴覚教育をどのように展開したらよいか



二、視聴覚教材の自作について
具教育行政の中に、製作指導及全員の連携の組織をつくることが必要とされ、その具体策は今後の課題に残された。

非現実性を批判しているであつて、徒らに新聞、雑誌などの誇張論調は反省すべきである(新発田市)などの意見があつた。
この討議の結果は次のようであるが、このような運動には、簡易な設備が必要である。その整備のためには、日本興行映画製作の不健全性が指摘されたが、それは毎週二本建を親迎してみる対象、つまり国民的の社会教育の低さが原因となつてゐる。単に青少年のみならず、現存の社会環境が問題であり、現実な人生を営むべき鑑賞者の教育の推進が大切になつてくる。

形式的な鑑賞制限によらず、マスメディアに對する抵抗性を養つていくという本質的な努力によつてのみ、民主的な社会環境が生まれてくるのか、の分科会を終つた。

講師
 柳川麦吉(新発田・市議長)
 西山 強(北蒲・町村会長)
 大井一星(県社・教・委員長)
 司会
 増井悌三郎(県教委)

柳川講師 公民館は単に教育行政の分野だけでなく、農工商の分野にも関係する事は多々あり、公民館は総行調整の場である。私も議員代表の立場から、公民館の育成と、その推進に協力する。

討論会

西村講師 義務教育面は、天張り、社会教育面よりも優先されるので、先ず校舎の再建、中学校の建築が一通り完了できれば社会教育の面にも力を注ぐことができるであろう。公民館は社会教育の中心施設であるが、一層振興するためには、国の助成がよの必要である。

大井講師 新市町村が新市町村建設計画をしっかりと樹てなければならぬ。この計画に即つて進まなければならない。公民館はこの建設計画の中にとび込んで行かねばならない。そのためには、公民館は独立した施設と、専任職員をもつて先になつていなくてはならない。

市町村総合行政の中で

公民館は

如何にして扱いた
らよいか

の皆さんから、住民に正しい認識と理解をもつていただくように教育してもらいたい。義務教育は社会教育より優先しているのだから、やはり多少のしわ寄せがあつてもやむを得ないと思う。

大井講師 それは選挙制度を改めなければならぬのではないのか。

市町村議員 は、それぞれ住民に對して公約がある。それに次期選挙の時にもあるもので、公約を果さなければならぬ。この場合、成果の見えない教育振興のような事は後まわりにされようというので、地区ライブラリーの運営が支障を来している。

西村講師 義務教育が先で社会教育が後というのでは、市町村の財政は赤字であつても、農林関係の予算の中にも公民館に關係をもつ講習会、講演会費の如き予算が盛り込まれては、市町村関係にも同様な予算が盛り込まれているが、これらは公民館の予算に一本化できないものか。

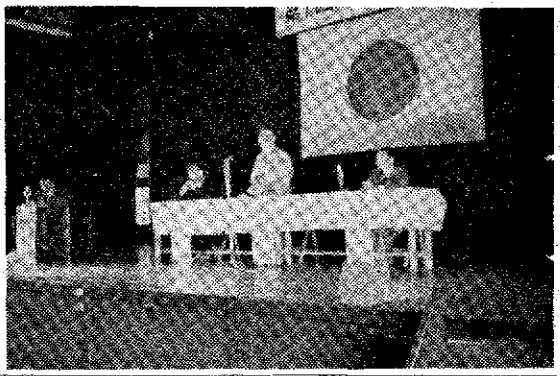
西村講師 農林商工関係の予算の中にある講習会、講演会費はやはり農業技術の向上や商工業者の育成には必要な予算であり、公民館の予算に一本化するとは無理であるが、一語に実施する方法はある。人を集めることは公民館で受持ち、経費は農林、商業関係の予算から支出するという方法がよい。

要望(西村、大井両講師に) 補助金等臨時特別に關する法律によつて、地区ライブラリーの運営が支障を来している。

西村講師 義務教育が先で社会教育が後というのでは、市町村の財政は赤字であつても、農林関係の予算の中にも公民館に關係をもつ講習会、講演会費の如き予算が盛り込まれては、市町村関係にも同様な予算が盛り込まれているが、これらは公民館の予算に一本化できないものか。

西村講師 農林商工関係の予算の中にある講習会、講演会費はやはり農業技術の向上や商工業者の育成には必要な予算であり、公民館の予算に一本化するとは無理であるが、一語に実施する方法はある。人を集めることは公民館で受持ち、経費は農林、商業関係の予算から支出するという方法がよい。

下の写真は
演壇上の三
講師



公民館単行法問題

一歩前進(全公連大会より)

全国公民館大会は予定の通り、十六、十七、十八の三日間、大阪市夕陽丘公民館において開催された。集まるもの約千名、本県からは三千六名と云ふ多数で全国一位、「さすがは新潟だ」の声が聞かれた。熱心な討論は終日繰り広げられたが、今次大会の唯一と云つてもよい大収穫は、単行法問題の一步前進である。この単行法制定問題は連去三年論せられ、且つ昨年度は文部省側の一言退場などもあつて、「文部省頼むにたらず、議員立法で行く」と決議したのであつた。

またその後文部省は「社教法の一部改正」を主張し、全く対立膠着状態にあつたのである。それが今次大会開催に即つて、文部省は「単行法必ずしも反対にあらず。要はその内容による。共に研究しようではないか」と表明した。これは明らかに従来の「反対」から一歩前進したもので我々の悲願成就の第一歩である。

文部省と手を握り相協力して、公民館の一步前進を続けなければならぬ。それにはなお幾多の問題が懸かっている。漸く態勢が揃つたに過ぎない。問題はこれからである。

公民館 訪向

(両津市内海府公民館の巻)

「へき地なものですから」と内海府の方はよく言う。話の通り両津から船で三時間かかりです。

しかし、ここでは公民館活動がよく行われています。この六月「へき地」で、しかも公民館活動のよく行われている「西」といふので、NHKからラジオを贈られました。それについで入れられています。

内海府は地形的に恵まれないので、ラジオ活動、部活動なども分館活動、部活動も今日見分館を訪れることになりました。

見分館は十八戸ですが、何より先に施設がたつたので、二年がかりで青年会を十二万円、改装しました。事業費三万円も入れると、二百万円も入ると、二百万円になります。このうち五

万円は選挙の通路を安全にするため、橋の工事を部落へ譲りつた収入が含まれておられます。このように二年がかりの汗の結晶だけあつて、部落の喜びは一入のものがありました。

この分館で「嫁の会」が開かれていました。ここでも効果のあつたことは、姑さんとの座談会、女子青年との話し合いなどから嫁姑の間がなごやかに、嫁さんが夫と仲良く暮せるようになったこととぞうです。

(佐渡・島川)
写真はもつたラジオを贈る青年達

へき地なるが故に 教育は振興する



座談会、女子青年との話し合いなどから嫁姑の間がなごやかに、嫁さんが夫と仲良く暮せるようになったこととぞうです。

(佐渡・島川)
写真はもつたラジオを贈る青年達

大会に参加して

刈羽郡公民館連
絡協議会副会長

五十嵐祐教

公民館大会には毎年参加してきてた私も、今年も新潟市までの道は遠く、何となくしんどい感じがあつた。然し全體會に到着してみると、同僚の諸君が相集つての好ましい空気で直に公民館人の自覚と意欲とを取りもつて居る事ができた。そして大会中何れも表現はできないが、親近感と愛護の情のうちに過すことができて今年も来てよかった。秋晴れの空のような気持ちで帰る私であつた。

第二、第三分科会に於ては、青年教育、婦人教育の切実な問題が討議された。

討議されただけに、内容も従来にない充実した研究が加えられたように思ふが、特に目立つのは、公民館としての公民館が、青年の危険性が強く追求されたこと、婦人教育の重要性が、青年教育の立場を明確にし、青年団と青年学校だけが青年教育ではない、婦人会の組織を通さなければならぬ、婦人教育はできないという考え方の危険性が強く追求されたこと、公民館、社会教育の本質的な問題点であると共に、全般的に公民館人の考え方が向上してきたものと思ふ。

第三分科会に於ては、オヤジ教育に問題をしぼつて討議された。

この問題については全般的に実践活動の体験に之しく、自信のある発言もすくなくあつた。然し数多くの問題と構想が発表されて、この面の活動に益する面は多大であつたと考へる。

第四分科会には出席の機会も少なく、報告をきくにとまつたが、方法論としての問題と許問性の問題の両面から取り下げた討議が行われて、どうあるべきかの具体的な結論にまで持ちこんだ努力に敬意を表したい。

特に小団活動の具体的な方法として、幻灯や、テープの活用が論じられたことについては、視覚聴覚教育即ち映画教育という現下の一般的な概念に対して一つの警告的意識を持つると思ふ。

討論会について

三講師の意見発表のうち、町村長の立場から西村氏が、極めて適切に、具体的に、テーマにピッタリする意見を述べられたことは好感を持たれた。司会、進行も手際よく進められたが、一般の討議参加者が、こうしたこの指導にも当る公民館人として、もつと勉強する必要があると感じたのは、私ひとりであらうか。

宣言(決議)について

日曜の中に総会という形のものがなく、従つて報告の時間もなかった。その為に開会式の中で全分科会の報告がなされたので、分科会報告の時間が宣言決議の動議が提出されたり、一寸奇異な感じがした。宣言決議も全体の空気の中から湧き上つてきたことは事実であるが、日程をたしかめたことは大会運営の面からは不手際であつたと思ふ。

最後に閉会の時間が伸びて、中食もとれず、きりきりの時間に駆けつけて、汗を流した大会参加者が多数あつた。私もその一人、パスの手配がきかなかつたのかと、汗をきながら私は考へた。

感想

刈羽郡公民館長

波田野田郎太

一、全般的な角度から、大会は功したと考へる。
二、中越、佐渡等の遠方から熱意を以て多数が参加した。

公民館運動に対する期待と町村合併後の公民館活動の方向を知ろうとする意欲が現れていたことである。

主催者と新潟市北浦公民館との連絡が緊密で、地元側の奉仕熱が良かった。

二、各項目ごとについて

1 会場案内：新発田駅前案内係がサービスしていたことと地図を配布したことと適切な心配であつたが、案内係の場所不明確な標識をして置いた方が良かったのではないか。

2 会場：大会場は整つていたので大会らしい雰囲気を感じた。

主催者をもつとはつきりさせ、席を大きくして来賓を少くした方が一般参加者により印象を与えたのではないか。

3 スピーカーの照明は中央部を除いてよく配られた。

一般参加者の視界は当然の通りである。

4 大会の進行はついでに大きな集会であつたのだが、進行係は円滑であつたと思ふ。

然し事務局長が微細な点まで活動に奉仕しているのは立派だが、殊の外に細い仕事迄進めているので幹事の存在意義が薄れた。表形式の進行を更にスムーズに考へるとき、進行係と表彰者ととの連絡が密接であつた方がよかつた。

4 開会式は、挨拶祝辞共に参加者へ深い感動を与えた。

日曜の公民館活動を興理事者、市町村長に紹介して其の存在意義を或は機能理解して頂く工夫と努力が望まれている。

5 分科会の意義を充分認識された。

各分科会のテーマが平凡な広域的広範であつたが、現場の各市の公民館活動の動きから拾上げたものである方が妥当でないかと思ふ。

6 レクリエーションは必要である。

少くも、少くも時間が長かつたのである。このように集地から、二日間の大大会が参加者に刺激を与えていか。然し特に映画の放映の青年演劇とフィルムにしたものは感銘深く、土地に根を置いた演劇を作ろうとする意図や仲間を広げる活動に抵抗が加わるのを除々に解決から喜ばれ感謝され、青年活動に大きい示唆を投げかけている点に目された。

7 分科会報告：報告時間が極めて短いので、司会者が重点をよく採上げて発表したことは県内のエキスパートに感銘を受けた。

主権者側としては、此の報告に対する賞賛を予想し、プログラムの立て方を考慮したらよかつたのではないか。

8 討論会：其のテーマが現在の公民館運動が反響期に立つて居る時適切なものと共感を感じた。

パネル人も適当な方で各職務からの観望で論陣を張つたことも深かつた。論者が一般行政と公民館活動との繋りをもつと掘り下げた主張を発表して頂いたら効果的ではなかつたか。

9 全般的に、緊縮活動が出て探されて、此の宣言、決議が作成された。

此の宣言、決議は現時の公民館活動が全国本部で中ぶらりんの状態である時、新潟県を先頭に三浦、川崎両氏を始め、大大会女場ついでに西氏、ニヤニヤとつたのであつた。

10 来年年度表彰候補に絶対まちがえないと、懸念をもち、表彰。

三、大会女場片陽に新潟市のみやげ酒を設けたいに此の機会を利用して、新潟市の特産を宣伝してやうと考へられる。従つて此の大会は大きいテーマを示して、現場へ活動、運動を推し進めて居る。

11 公民館大会は、県下各公民館活動努力の集大成であり、又表彰である。

従つて此の大会は大きいテーマを示して、現場へ活動、運動を推し進めて居る。

12 公民館大会は、県下各公民館活動努力の集大成であり、又表彰である。

従つて此の大会は大きいテーマを示して、現場へ活動、運動を推し進めて居る。

13 公民館大会は、県下各公民館活動努力の集大成であり、又表彰である。

従つて此の大会は大きいテーマを示して、現場へ活動、運動を推し進めて居る。



(真写は閉会式の万歳三唱)

会場の片隅で

新発田市

鈍愚生剣児

今迄になつた館長並に職員代表が今回の大会に多量に表彰されたことは誠に喜ばしい。

館長七名、職員十二名、計十九名。毎年此の期定で表彰がある。

すると五年先は百数十人の職員が表彰される計算になるよう。

六年先では……大会会場の片隅で、十年もすると県下の公民館職員は優秀な公民館職員として表彰されることにならう。

ある。學生もそれだけの幸福らしい。

二、討論会終了で新発田市議会議長柳田謙一郎「新潟市中央公民館は市民の感謝を受けていることは現実にあり、これは優秀なる職員三浦、川崎両氏を始め……大大会女場ついでに西氏、ニヤニヤとつたのであつた。

(七面よりつづく)
 内は大会事務局で買上げたのであるが、参加者の着した金は皆千五百円也。公民館職員の手合の淋しい。お宿のおはさん達こぼすてと。愚生とちの御同情申上げて良いのや。

四 大会場の片隅に「気分が悪い方はお申出下さい」と紙標を出しておいた。晋彦に現れたのが大会役員、二日間の担当持参の「あたり」だ。またたく役員の間は御苦勞様でした。何んの報復も出来ないかと云つてくれたのが手拭一本。事務局の親切に感激。疲れたのであうからこの手拭で一風呂浴、こども云う意味であらうと愚生は驚察した。

苦難の十年

加茂市公民館長
 横山旭三郎

公民館活動の過去十年の荆の道歩み振り返り、新教育委員会発足の秋に、新しい決意の下に、地域民の教養の向上、融和、協力の旗を掲げ、庶民のよりよい文化センターとして活躍せんと奮闘した事は有難い事であった。
 「公民館は市民の茶の間の如き」と言う言葉から出発して誕生後十年、法施行後七年、今やその茶の間の、客間になって、よそ者の人の使用に限られたり、こみこみこみこみ物置きになって然るる難状を呈示化したりしている者

もあるかも知れないが、併し、いづれにしても、無い無いの中を、やうくして、地域に即した活動を続けられて来た功績は見過せぬの淋しい。お宿のおはさん達吹雪の夜道を喚字機を言たごる職員の方苦、妻子のうらめしき顔を振り切つて、最も辛しかるべき家庭の慰安日、日曜、祭日を返上して、PRに又リクレーシヨン活動に、地域民の心の糧となつて活動を押し進めた。併しこれ等もその活動範囲の拡大や、その要求度に対して現在のままで、極度に達し、前進をははまれる壁にぶつつかつた。この壁を破るものは単に現在の法改正等では到底足りぬ運管は望めない。即ち公民館単行法の成立によつて、職員確保、施設、設備の充実等を図るよう措置することが刻下の急務であるといふ議案されたことは、本県公民館の熱意を天下に公表した本大会の最大収穫であった。

次に、各郡会の研究も有意義であつた理由は、議案の分類、内容とそれに配する司会、助言者、発表者とよく搭配された大会事務局の手腕と努力に負う所が大きい。ただの時間では討議の範囲が広いため、突込んだ研究が出来なかつた恨みがあつた。
 最後に行われた全体討議の「市町村の総合行政の中で公民館は如何にして働いたよいか」に対しては、各郡部の公民館活動に寄せられた期待は大きかつた。それだけに公民館人は自己の職責に対して深

く反省するに堪へ、その活動の要領となる物的施設を強く要望したことは注目される。それがやがて公民館単行法草案の編纂となり、来るべき全国大会に提出されることとなつた。
 本大会参加者の胸には、合併市町村は合併後の新郷土づくりに懸命の努力をかけたむけつてある。公民館はその行政の中では、理解と融和と協力の土台造りとなるべく新郷土建設の潤滑油ともなり、又一本の止め釘ともなり、目に見えない所で、しかも重要な任務を課せられてゐることを痛感した。

大会に思う

関川村公民館
 伊藤 茂治

毎年の例により全国大会の日取りによつて県大会九月の下旬と決められたので、下越地区はあり、会場の近き事をまず喜んで大会に出陣の海出かけてみて会場の近いわり何が大気気分になれない気分があり、自分一人だろかと誰彼に聞いてみるも案外そんな事を云う人がいたので、どうしたのだからかと考えさせられた。
 勿論地元新潟市は大会会場になつた事で色々御苦勞された事と思つた。会場校の方達の御協力は大変なつたろうと感謝したが、会場の大変な無理があつたのではないか。新潟市と長岡市とが県の中心地だけ大会を持つ事よりもそれ以外の地、大会を持つ事によ

つて地域の人達に認識を深める事もあつた。遠くでは出席出来ない人達に出席して貰ふ事もあつた。よい点は沢山あると思つた。大会のテーマによつて又は日程の組み方とか内容によつて会場を考へる事も必要かと思はれる。大会が研修会等と目的を異にする事も勿論わかるが、折角の大会に臨み出すテーマや分科会の題を選ずる事も同一考を要する。本年は全公連に対する考え方や問題があり、もっと深く説明してもらいたい事もあり、参加者の意見も聞いて貰いたい空気を強く感じた。大会々々場もそんな事に時間を取るのは云々考えもあるが、この問題は公民館関係者としても非常に関心をもちな

期待するもの

横越村公民館
 建部 利彦

「今、我々県下の公民館がひとしう直面して居る問題はこれだ、この問題をどうきめ解決してゆくには、どうすればよいのだ。この事が必要なのだ」
 一年一回の公民館大会である。同じ道である公民館関係者、公民館に共通の一つの期待をかけて居る。それの方々は一年一回の新潟県公民館大会の名のもとに集まつて居る以上、誰しもが最初に私が書いた、公民館の共通な大

ければならないと云う、そう云う事が以前に判つていたならば日程に組みこみでもらいたかつた。後述になったが、開会式に副知事、県公連長、教育委員長の出陣された事は非常に意味が深かつた。これは公民館を認識された結果であらうとうれしく感じた。尚討議会の「市町村総合行政の中で公民館は如何に働いたらよいか」と云うテーマもバネルマンもよかつたと思ふ。特に増井主事の名司会生きた事を賞ふもの。今後現場に於ける市町村の公民館活動の為に本大会に於ける宣言決議が役立つよう祈るものである。大会要綱の趣旨ともあつたに町村合併は一応県内の大枠は形づく

きな問題の解決を心に描いて居られたのではなかつたか。第七回の新潟県公民館大会は、きわめて毅然としかも内容的につつこんだ討議が行われたものと思つて居る。
 その点関係者の方々も大会中色々な面を担当された方々の御苦勞と又その実力は高く評価されねばなるまい。
 ここに当事者の方々には返答ぬき考えを述べた事になかなかも知れないが、私見を述べてみよう。
 一、公連としての時間をもっとほしい。
 二、公連としての報告やら又全国公連の動きなどについてももっと時間をかけてほしい。

くられたが、新しい教育委員会と対町村との関係、及び教育行政上の社会教育の面がどんなに生かされる等は関心事だといつて居る。これは必ず実現したい気がする。
 新教育委員会が現在では案じられたまま片寄つた人事も行はれず見方は大体公平な改善立を感ぜざるが、その中には当然に感ぜられるべきの昔の学務委員方式の感ぜられるところもないわけではな。こんな時にも本大会の時期を今更云々するのは愚のいたりだが、本大会の公民館関係者の気持を充分教育委員会に知つて貰うよう努めてもらいたい。
 勿論現場に於いてはその立場に於いて努力する事は言をまたないし、その為にも単行法制定の運動に県公連の活動を期待している。

この事は我々一般の参加者には全然わからなかつたり、知つて居ても極めて断片的な知識しかもつていない、日程の中にヒシツと組みこみでもらいたい。
 二、年度の問題点を最初からうたつて、その基礎にたつて各分科会にうつる。そして最後に全体討議、その他によつてまとめると言ふ手順がほしい。
 共通の基礎がないと、分科会に於ける話し合いが、構成や手段のみがそれらバラバラに話しあわれ公民館活動としての有機的な展開が討議されないのではないかと、一

言にして言つと研究集会になつてしまふのではないかと。そんな印象をうけた。
 三、会場は無理しても公民館で。一番むづかしいが一番大事なのは会場だと思ふ。県下に適当な所が少なからぬかも知れない。しかし公民館大会は公民館の名のつく所であつてもらいたいと思ふ。
 以上、大ざっぱに大会の印象を語つたわけであるが、言葉の足りない点はお許しねがいたい。
 私共は県公民館大会に大きな期待して居る。その後の一年間色々な困難に直面した時、私共はあの大大会にあつた仲間の一八一人の事を思いおこす事によつて心のささえとして居るのだから。

☆県下公民館大会の特集を致しました。紙面に出ないが御苦勞を下さる御苦勞をいたしたいです。
 ☆全国大会に出席して、我ながらその参加者の多かつたことにヒシヒシと。従つて宿舎は小学校の修学旅行並、ベツタリ敷かれた宿舎に思い思いに滑り込んでおむる始末。それがレッキとした大館長さん達です。
 ☆それだけに、相互交際には絶対のチャンス。ストリップを賞して、『看板に偽あり』と発表する大館長さんもありました。もつてその賑やかさを推察下さい。中心

